

令和 4 年度 熊本市救急災害医療協議会議事録(書面会議)

会議名 令和 4 年度 熊本市救急災害医療協議会

開催日時 令和4年9月29日(木) 資料送付:9月27日 意見票の集約:10月14日

出席委員 別添 委員名簿のとおり

会議次第 議事 1 救急医療について

(1) 令和3年度 救急医療事業報告

(2) 令和4年度 熊本市の救急医療体制

2 災害医療について

(1) 熊本市の災害医療提供体制について

(2) 熊本市地域災害コーディネーターについて

(3) 熊本市災害医療サポートチームについて

(4) 広域災害救急医療情報システム(EMIS)について

(5) 熊本市災害医療訓練の実施について

議事の審議結果

議事 1 救急医療について 承認 24名、不承認 0名

議事 1-(1) 令和3年度 救急医療事業報告について	
意見 1	現在の「精神科救急症例」に関して、熊本市内で問題なく対応できているのか、もしくは、熊本市内での対応(特に輪番制など)で協議すべき課題がないのかが気になっている。この点について情報があればご教示いただきたい。
事務局	精神科救急の輪番制については、特段支障なく運営できているものと考えております。 しかしながら、警察からの精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 23 条の規定に基づく通報があった際、内容を精査し診察を実施することになった場合は、速やかに措置入院の受入先の確保及び 2 名の診察医の選定が必要となるが、当日の依頼となることや病院で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した等の要因により、受入先や診察医が見つかり難いという課題はあります。
意見 2	現在の新型コロナ感染症以前に比べると患者は減っているが、くまもと中央薬局の救急調剤は今後も継続して行う。その為に薬剤師、医療従事者の確保をきちんと行い、教育を毎年実施する。
事務局	救急医療体制の確保に向けて、積極的に取り組みを進めていただき感謝申し上げます。 全国的に持続可能な救急医療体制の構築等が課題となっており、薬剤師等の医療従事者の確保に関する課題を含め、関係機関・団体等と議論を重ねていきたいと考えております。

議事 1-(2) 令和4年度 熊本市の救急医療体制について	
意見 1	病院群輪番制について、制度自体の効果の検証や課題分析は行われているのか。診療科によって違いがあるかもしれないが、あまり制度として定着していない感じがする。
事務局	病院群輪番制は、救急車で搬送や初期救急医療機関からの転送の受け入れ等、緊急の治療や入院が必要な重症患者の搬送先を確実に確保するため、昭和53年から(熊本中央地域二次救急医療圏における運用は平成17年度から)継続している制度です。 令和3年度は 1,528 件で一定の搬送実績があり、特段支障なく運用できていると考えておりますが、制度自体のより効率的・効果的な運用に向けて、ご指摘等を踏まえながら、熊本県の第8次医療計画の策定に併せて、効果の検証や分析等について検証してまいりたいと考えております。
意見2	令和3年6月から開始された「熊本県夜間安心医療電話相談」の実績より、トリアージ効果を確認した。
事務局	引き続き「熊本県夜間安心医療電話相談」の利用促進を図ることで、市民の不安感を払拭するとともに、医療機関の負担軽減につながるよう努めてまいります。

議事 2 災害医療について 承認 24名、不承認 0名

議事2-(1) 熊本市の災害医療提供体制について	
意見 1	県薬剤師会との協力体制の元、市薬剤師会は毎年「薬剤師災害薬事コーディネーター」を育成している。また、研修、実施体制づくりを行っている。モバイルファーマシーを県薬が保有しているので災害時には出動できる。
事務局	災害時の医療提供体制の確保に向けて、積極的に取り組みを進めていただき感謝申し上げます。 本年度、熊本県薬剤師協会等との協力のもと「災害時医薬品提供体制構築に係る合同訓練」を実施し、モバイルファーマシーの出動等についても訓練を行ったところです。今後とも関係機関との連携を強化し、災害の発生に備えてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。
意見2	昨年度の資料に記載されていた災害医療についての市民への啓発はどうなっているのか
事務局	昨年度の救急災害医療協議会資料に掲載した「災害医療についての市民への啓発」については、ホームページで啓発を行っており、今後も引き続き啓発してまいります。

議事2-(5) 熊本市災害医療訓練の実施について	
意見1	令和5年1月28日の熊本市災害医療訓練では、熊本市医師会はどのような参加をされるのか。(いくつかの病院が医療情報伝達訓練や避難を想定して参加するのか。) 可能であれば、検討いただくと有用であると思う。
事務局	訓練の形態については、熊本市医師会を含め関係機関と協議中です。 EMIS 等を使用した情報伝達訓練、医療コーディネート訓練、DMAT 受け入れ訓練を実施する方向で検討しております。
その他の意見や情報共有について	
意見1	熊本県栄養士会は災害支援管理栄養士、栄養士の育成・教育に力を入れ、災害支援事業に取り組んでいる。会員の多くは医療機関で仕事をしており、被災者向けの食支援や患者毎の食料の支援物資(特別治療食や嚥下調整食等)の調達をすることを目的としている。
事務局	災害時の医療提供体制の確保に向けて、積極的な取り組みを進めていただき感謝申し上げます。 災害時の被災者への食糧支援や支援物資の確保は極めて重要であり、市民への啓発(食料品備蓄、ローリングストック等)を行うとともに、平時から関係機関の取り組みについて相互に把握しておくことが重要であると考えます。発災時に連携支援できるようご協力をお願いします。
意見2	令和2年度および令和3年度の夜間・休日受診者が大きく減少していることについて、過剰死亡などのハレーションがないかどうか、データを示していただきたい。
事務局	熊本市の人口動態調査では、死亡者数(暦年合計)は平成30年が6,924人、令和元年が7,284人、令和2年が7,129人、令和3年が7,435人との結果になっております。 令和2年から令和3年の増加(前年比+306人)については、新型コロナウイルス感染症による死亡者数の増加や休日夜間受診者の減少等による要因を否定することはできませんが、平成30年から令和元年がそれを上回る増加であることや過年においても大幅な増加年があることから、死亡者数の推移によって相関関係を見出すことは困難であり、また、当該データ以外に検証可能なデータを現有していないため、休日夜間受診者の大幅な減少が過剰死亡等に繋がっているかの現時点での検証は困難だと考えております。
意見3	熊本市地域災害医療コーディネーターに熊本市民病院も参加したほうが良いと思う。
事務局	発災時の熊本市民病院の役割についての整理も含め、同院と協議します。